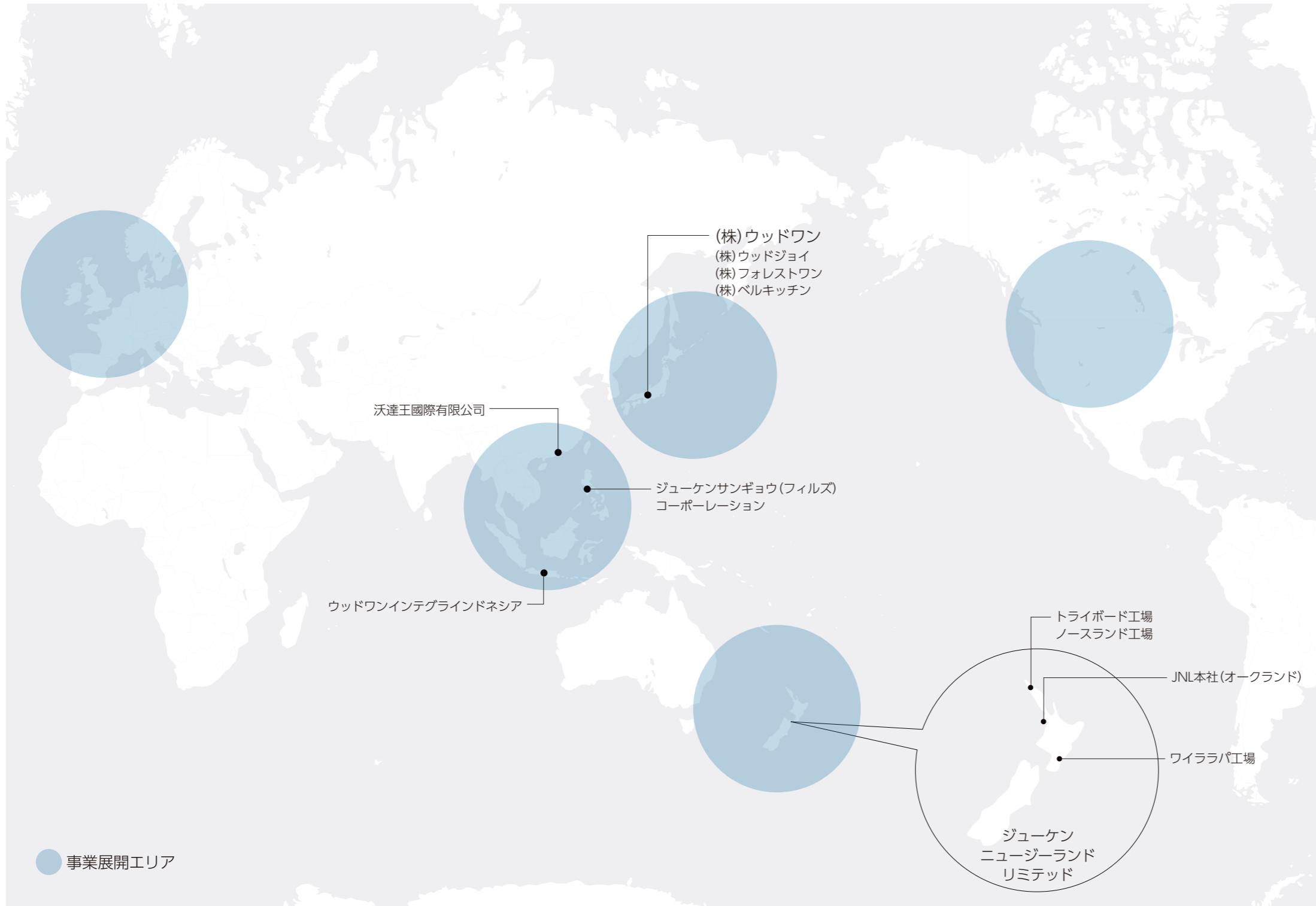


事業展開エリア

地球規模の視点で生産ラインを構築。

国内はもちろん、海外にも生産拠点を配置し、ロスやリスクの少ない合理的な生産体制を築いています。



企業概要 (2025年3月31日現在)(単体)

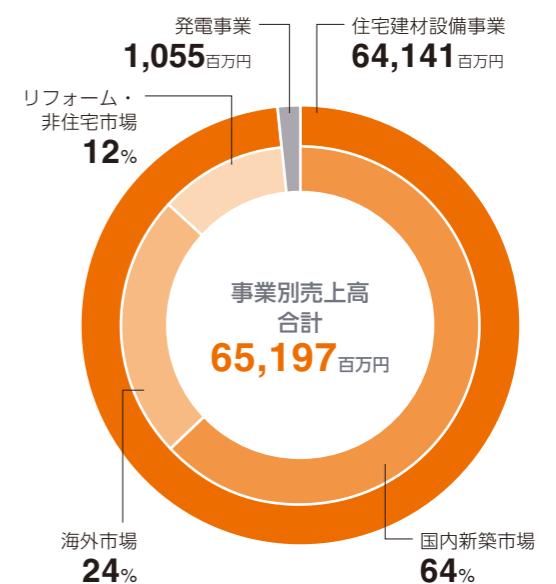
創業	1935年5月	創立	1952年4月
資本金	7,324百万円	従業員数	1,179名

所在地 〒738-8502
広島県廿日市市木材港南1番1号
TEL 0829-32-3333(代表)
URL <https://www.woodone.co.jp/>

主な事業所 (国内)

支店 東京・名古屋・大阪・福岡
営業所 札幌・仙台・豊橋・広島 他32カ所
工場 本社(廿日市)・東海(豊橋、蒲郡)
物流センター 本社(廿日市)・東海(豊橋)・関東(坂東)

事業別売上高 (2025年3月)(連結)



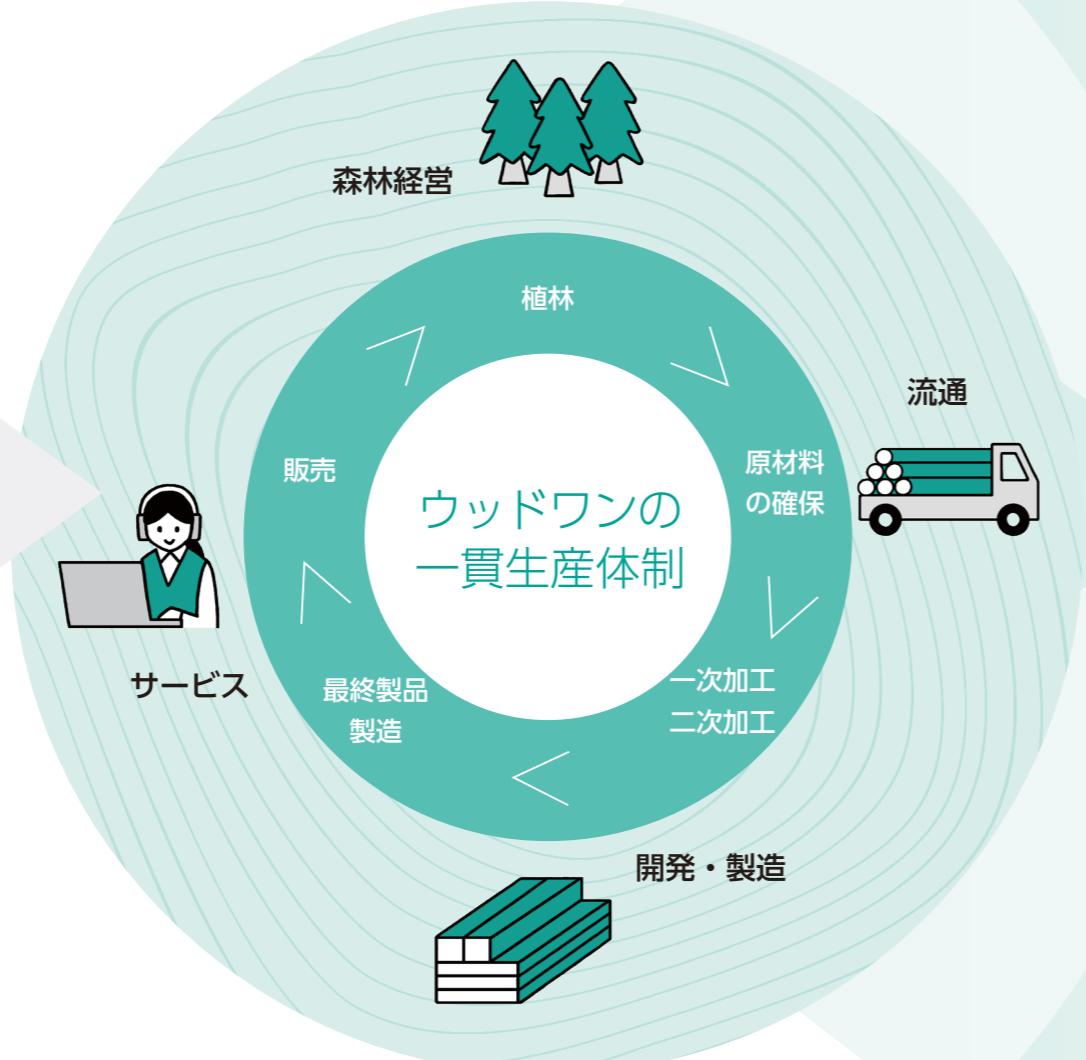
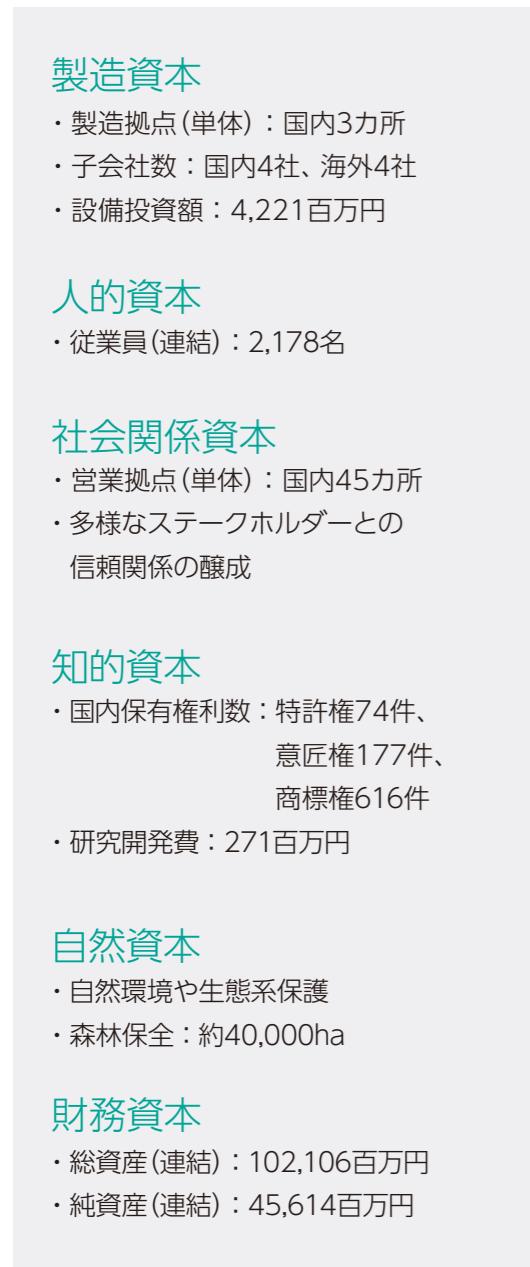
目指す姿 自然と人と社会が循環共生する持続可能な社会へ
ウッドワンの価値創造プロセス

競争優位の源泉

木と人のGOODな関係を
創るバリューチェーン

創出価値

企業価値向上



社会的価値

- ・森林経営面積：約4万ha
- ・CO₂吸収量：約68.9万t-CO₂/年
- ・CO₂固定量：約6.8万t-CO₂/年
- ・FSC®認証木材：49,899m³/年
- ・男性育児休業取得率：68.7%
- ・省施工製品による労働生産性の向上の実現
- ・安心・安全・快適な住空間の実現

経済的価値(連結)

- ・売上高：65,157百万円
- ・営業利益：1,310百万円
- ・親会社株主に帰属する当期純利益：1,777百万円

サステナブル経営を推進するための事業戦略
循環型森林経営、一貫生産体制、脱炭素、バイオマス発電事業、長寿命製品、労働生産性向上、安心・安全で快適な住空間



木を育み、木の恵みを受け取る、木と人のgood communication ウッドワン価値創造の軌跡

ウッドワンの強み

ウッドワンの歩み

強み 1 苗木づくりから家づくりまで住宅事業の展開

広島の地に林業を起こし、建材の加工・製造、建築部材の設計・生産を行う木質総合建材メーカーとして70年余の歴史を刻んできました。

…1960

/ 1970

/ 1980

/ 1990

/ 2000

/ 2010

/ 2020

強み 2 木を知り木を科学する

自ら育てた木を高度な加工技術でさらに建材として適材適所に活かすウッドワンでは、木を究めたプロフェッショナル人材を育成。素材の持ち味を引き出しながら強度・耐震性など機能面でも優れた建材に再生させてきました。

強み 3 40,000haの森林を経営

国内だけでなく海外の森林を調査し、1990年代からニュージーランドに良質なニュージーパイン®の森林を取得。再生可能な資源である森林を育む植林、間伐、伐採を30年周期で繰り返しながら事業を展開し、国産材とともにクリーン調達、安定供給しています。

強み 4 省施工・省資源の推進

少子高齢化等の社会構造の変化にともない、大工や職人の減少が社会課題となっています。ウッドワンは省施工商品の開発や、施工現場の独自の廃材削減を通じて課題解決に取り組んでいます。

強み 5 高付加価値商品で世界を豊かに

1本の木を無駄なく利用し、化学物質などシックハウス症候群の原因を取り除いて自然な木材のぬくもりをお届けする—ウッドワンは人に優しい高付加価値商品で世界を豊かにしています。

1935年 広島県に木材業創業

1952年 (有)中本林業設立、1960年に株式会社に組織変更

1967年 わが国初の超大型合板プラントによる長尺合板縁甲板「フロング」生産開始

1969年 (株)住建産業へ社名変更

1970年 蒲郡工場新設

1970年 豊橋工場新設

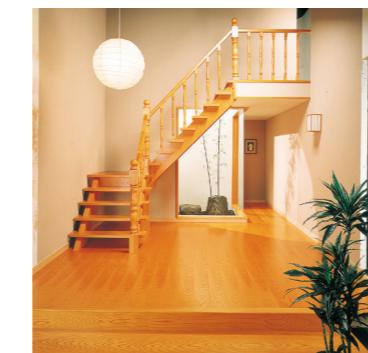
1974年 長尺合板壁材「羽目口ング」発売



「フロング」の廊下

1980年 LVL工場、集成材工場完成

1984年 新造作材工場完成



LVL階段 (銘木櫻)

1990年 ニュージーランドに現地法人設立

1992年 ニュージーパイン®の無垢材を使った無垢ドア「ジュピーノシリーズ」発売

1999年 フィリピンに現地法人設立

2002年 (株)ウッドワンに社名変更

2006年 株式会社ベルテクノ(現ベルキッキン)を子会社化

2008年 ウッドワンブランドで初のシステムキッチン「スイージー」発売



2009年 ニュージーランドの全森林・全工場で森林認証を取得

2010年 国内外の木質建材関連工場で森林認証を取得

内装材全種で「4 VOC基準適合」(木質建材)に登録

2015年 バイオマス発電設備新設。発電事業参入

2016年 株式会社フォレストワン設立

2018年 インドネシアの現地法人を子会社化

2022年 広島県庄原市と立地協定を締結

2024年 建材新シリーズ「WO Timeless standard collection」発表



「WO Timeless standard collection」

(百円)

80,000

60,000

40,000

20,000

0

(千戸)

2,000

1,500

1,000

500

0

新設住宅着工戸数

11

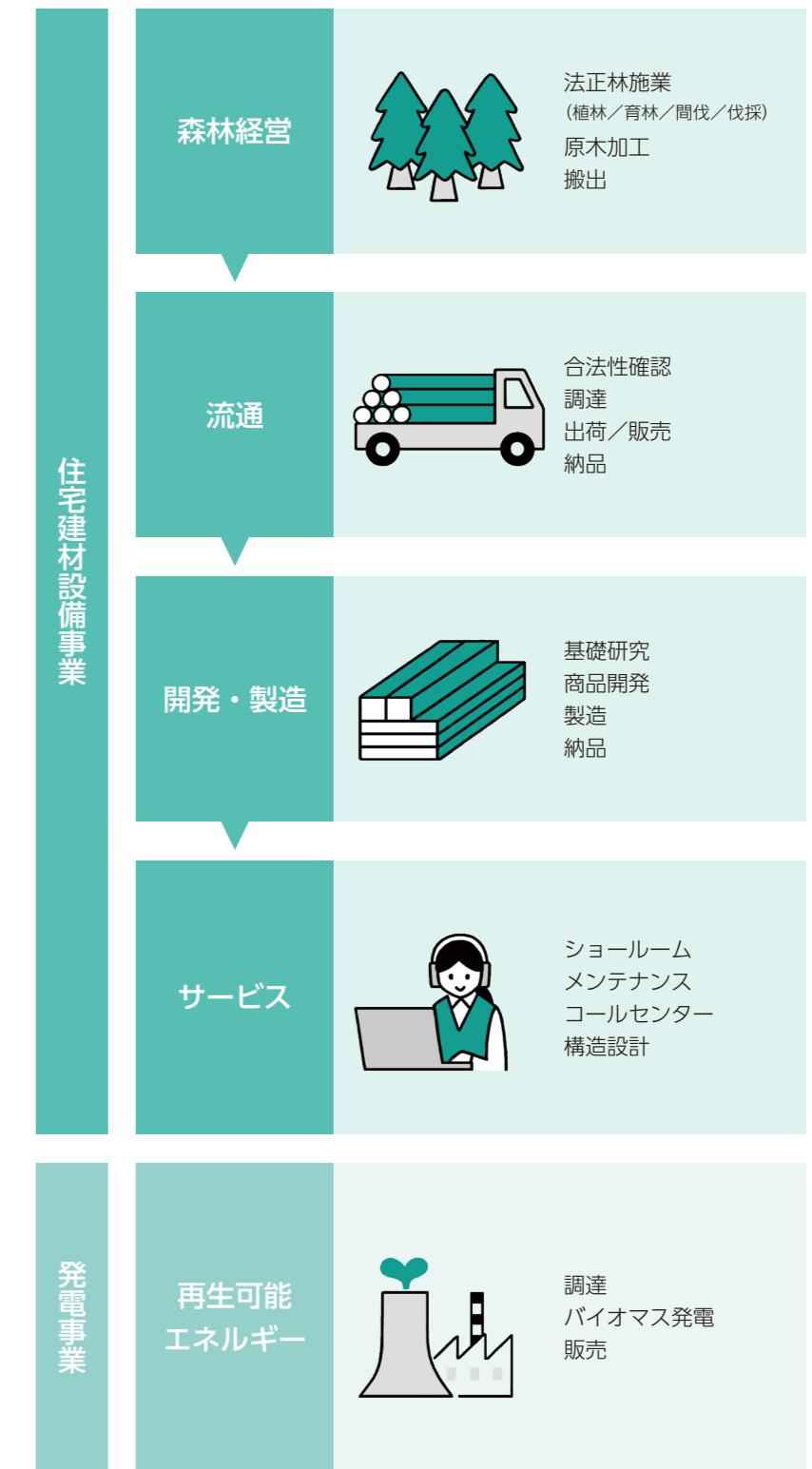
12

木と、人の、GOODな関係。 ウッドワンのバリューチェーン

私たちウッドワンは創立70余年、木とともに歩んできた木質総合建材メーカーです。半世紀以上にわたり培ってきた、森林に対する豊富な知識と、高度な加工技術を基盤に、森の育成から加工・販売までの全フィールドを活動の場としています。森と人の共生=「木(wood)と、人(one)のよりよい関係」を掲げ、グローバルな視点から、人と自然、社会、そして未来に貢献します。



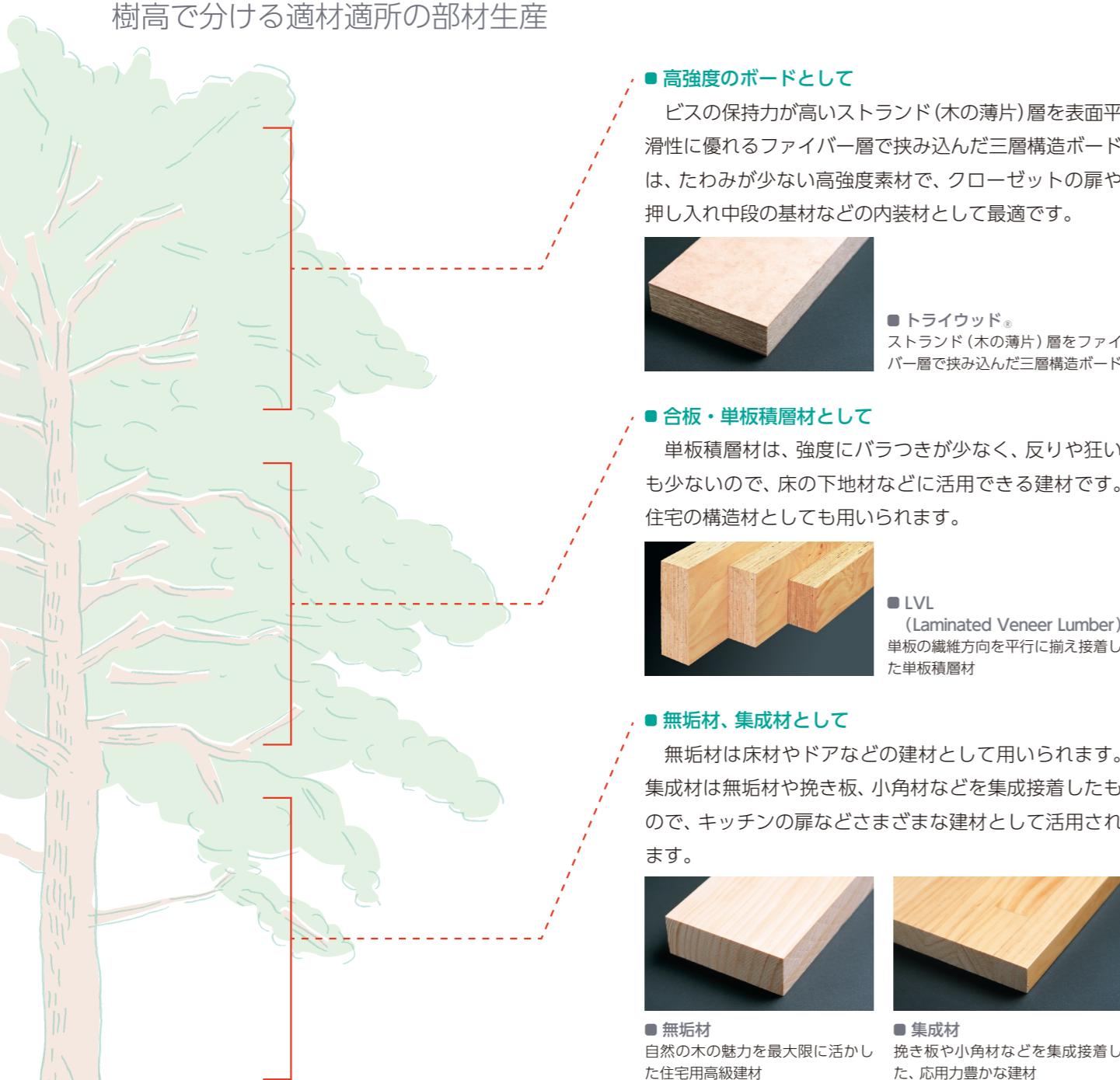
バリューチェーン



1本の木を余すことなく使いきる

ウッドワンでは、脱炭素の担い手である森林を育て、そこから資源としての木材を有効に活用するために、自ら植えて育てたニュージーパイン®のあらゆる部位を、建築用材に加工しています。目をかけ、手をかけ、大切に育ててきた木だからこそ、適材適所で活用し、余すことなく使いきる。それがウッドワンの商品開発のスタイルです。

樹高で分ける適材適所の部材生産



主要なブランド・商品

私たちの強みは、自ら木を育て、加工・販売までを行う一貫生産スタイルです。商品の完成形を見据え、最適な木を育てられるということです。自ら育てた木だからこそ、その長所も短所も熟知しています。「木」を知り尽くしたプロとして、素材が持つ木の面白さ、日本人の暮らしに深く根ざす木のぬくもりを、未来へ伝えています。

ピノアース

■ 苗木から育てた木のぬくもりを

ニュージーランドで計画的に植林されたニュージーパイン®を使用した無垢シリーズです。木の素材感を最大限活かす「浮造り仕上げ」が特徴的で、無垢材の持つ温かさ、優しさを最大限に活かしたシリーズです。



ピノアースシリーズ
(ドア、床材、階段材)

su:iji [スイージー]

■ 木を育てている会社が作る木のキッチン

スイージーに使われている素材たちは使い続ける中で過ごした時間が刻まれ、じっくり味わいを深めていきます。何十年たっても使い続けられる上質な素材を厳選し、ひとつずつ丁寧に人の手で作られたキッチンです。



su:iji [スイージー]
NZ20
ウォームベージュ色

木十彩 [KITOIRO]

■ 素のままよりも、楽しい

質のよい本物の木に彩をプラス。鮮やかな色彩や豊富なデザインで、木を取り入れた空間のアイデアがさらに広がります。



木十彩 [KITOIRO]
(床材、壁材、長押)

無垢の木の収納

■ 自由に組み合わせて、たのしく仕舞う

部屋全体を包み込む無垢の木の優しさ。お部屋のインテリアや収納物に合わせて自由に組み合わせ、自分好みのオリジナル収納を作ることが可能です。



無垢の木の収納

WO Timeless standard collection

■ 上質で時代に左右されず、暮らすうちに味わい深く変化していく

ニュージーパイン®の魅力を最大限に活かした幅30cmの床材に始まり、ドア、クローゼット扉、階段、手すりなど、木製の統合された建材を提案します。



WO
Timeless standard
collection